

科目名	CSU (コミュニケーションスキルアップ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岡田弘子
学科・コース	クリエイティブデザイン科 1年ABC	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	2007年度よりCSU講師 日本カウンセリング学会カウンセリング心理士 心療内科非常勤カウンセラー						
授業の学習 内容	1. 社会にデビューするためのトレーニング。 仕事に必要なコミュニケーション力に磨きをかけていきます。 2. 授業でのワーク体験や教科書学習を通して、「CSU検定」合格を目指します。						
到達目標	1. 基本的なコミュニケーション力をアップ！ ⇒話をして自分のことをわかってもらう。また、話を聴いて相手のことを理解していく。 2. 自己表現力をアップ！ ⇒自分が思っていること、感じていること、考えていることをきちんと言葉にして相手に伝える。 3. チームプレイ力をアップ！ ⇒グループで協力し課題を達成する。親しくない人、苦手な人とでも一緒にやっていく。						
評価方法と基準	1)出席回数 50% 2)ワークへの取り組み姿勢 20%(不適切なスマホいじりなど、目に余るマナー違反は減点) 3)振り返り試験(後期最終日に実施) 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義 集団演習	<自己紹介ワーク>クラス仲間と交流する。 「10の基本スキル」をチェックする。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
2	5月9日	講義 集団演習	<クラスの理解>仲間のことを知る。 グループ会話を体験する。CSUアンケート	
3	5月23日	集団演習	<名画鑑賞>協同作業を体験する。 作品のタイトルとイメージを発表する。	
4	6月13日	講義 個人演習	<エゴグラム>心の構造とその特徴を知る。 自分の良いところを見つける。	日常の自分の行動を振り返る。
5	6月27日	集団演習	<なぞの宝島>情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
6	7月11日	講義 集団演習	<アサーション>適切な自己主張を理解する。 上手な頼み方・断り方を学ぶ。CSUアンケート	自己表現と他者への関わりを振り返る。
7	8月29日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義①>教科書学習。 「基本的対話スキル」を学ぶ。	教科書P8～P40を予習・復習する。
8	10月10日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義②>教科書学習。 仕事に役立つ「自己表現スキル」を学ぶ。	教科書P41～P92を予習・復習する。
9	10月24日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義③>教科書学習。 就活や仕事に必要な「社会的スキル」を学ぶ。	教科書P93～P124を予習・復習する。
10	11月7日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義④>教科書学習。 顧客への「サービスマインド」を学ぶ。	教科書P125～P157を予習・復習する。
11	11月21日	集団演習	<砂漠で遭難！>コンセンサス(意見の一致・全員の合致)のとり方を体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
12	12月5日	集団演習 講義	<バスは待ってくれない>協同作業を通して、集団でのリーダーシップ機能を学ぶ。	
13	12月19日	集団演習	<おもしろ村>情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを振り返り発表する。	
14	1月16日	個人演習	CSUの振り返り～記述試験 CSUアンケート	CSUで経験したことを思い出す。
15		試験	CSU検定試験	
準備学習 時間外学習			様々な人と交流しながら、社会デビューに向けてのコミュニケーション力を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書「コミュニケーションスキルアップ検定」 CSUオリジナルワークプリント				

科目名	デッサンクロッキー	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 エルド 吉水
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼一年A	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 ( 2 )	
教員の略歴	『龍子 RYUKO』が「このマンガをよめ!」4位、「このマンガがすごい!」オトコ編13位。東京芸術大学大学院修了。					
授業の学習 内容	<b>イラストに必須な人体作画</b> 複数の可動フィギュアを配置して撮影し作画、自撮りや友人をモデルに撮影して作画。 年に4回は実際のモデルさんをスケッチ。頭身・プロポーション・筋肉骨格・重心から人体パース <b>イラストに必須な陰影と光</b> 面、量感、形は石膏像デッサンで小道具や背景などの基本は静物デッサンで。 質感の違いの描き分け、空間での位置関係など。					
到達目標	「イラストのキャラの顔は描けるけど、手が苦手で <b>俯瞰</b> や <b>振り</b> は描けない」 「漫画で <b>複数のキャラ</b> が教室にいる場面が難しい」 「迫力のあるバトルシーンを描きたいけど <b>人体のパース</b> がわからない」 これらは確かに難しいです。これらを克服するのが最終到達目標です プロのイラストレーターさんでも最初は描けなかったのです。					
評価方法と基準	個々の <b>長所</b> を最大限に評価します。 短所は前作からどれだけ <b>改善努力</b> をしたかを評価します。					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/17	講義と演習	①何も見ないで立ち絵を描く ②立ち絵の模写(版權絵をスマホで見ながらB4サイズに模写)	
2	4/24	実習	可動フィギュアにポーズをさせて撮影して描く 講評	前回の復習。
3	5/8	実習	友人クロッキー(服を着た人間を7分間で描く)	前回の復習。
4	5/15	実習	可動フィギュアにポーズをさせて撮影して描く 講評	前回の復習。
5	5/22	実習	友人クロッキー(服を着た人間を7分間で描く)	前回の復習。
6	5/29	実習	手と顔を組み合わせたポーズを撮影して描く(自撮りか友人) 講評	前回の復習。
7	6/12	実習	友人クロッキー(服を着た人間を7分間で描く)	前回の復習。
8	6/19	実習	男性モデルクロッキー(水着姿で4セット+着衣で2セット) 1セット=10分ポーズ×2	前回の復習。
9	6/26	実習	1.鉛筆デッサンの解説 2.静物デッサン(玉ねぎとニンニクとアボガド)	前回の復習。
10	7/3	実習	前回のデッサンの講評。 友人クロッキー	前回の復習。
11	7/10	実習	1.鉛筆デッサンの解説 2.静物デッサン(パスタとワイン瓶)	前回の復習。
12	8/31	実習	前回のデッサンの講評。 友人クロッキー	前回の復習。
13	9/4	実習	動物スケッチ(西葛西の行船公園)	前回の復習。
14	9/11	実習	女性モデルクロッキー(水着姿で4セット+着衣で2セット) 1セット=10分ポーズ×2	前回の復習。
15		試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			学校内で友人クロッキー、自分の手のスケッチ、風景のスケッチなど。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スマホとモバイルバッテリー、デッサン用具			※デッサン用具とは鉛筆、練り消しゴム、消しゴム、シャーペン カッターナイフ、クロッキー帳	

科目名	デッサンクロッキー	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	鈴木 弥栄子
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼ー2年AB	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 3		
教員の略歴	東京藝術大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了。画家。						
授業の学習 内容	絵を描くことの基本は観察すること！デッサンで対象の観察・描写・修正という連の作業を反復することで、正確に形を捉える技術・質感描写・陰影描写・画面構成力を獲得する。また、クロッキーで人体の構造を把握しながら、限られた時間の中での集中力と表現力を鍛える。						
到達目標	イラストを描くのに必要な、基礎的な観察力・描写力を身につけることを目標とする。 1年を通じて各々の描画のクオリティの上げ方を模索し、ポートフォリオに入れられるレベルを目指す。部分の完璧さを求めるのではなく、時間内で全体をベストな状態まで持っていくバランスコントロール力や客観性を身につける。						
評価方法と基準	以下を評価の基準とし、総合的に判断する。 作品提出率、客観的完成度、学生各自の習熟度、授業態度						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/16,4/17	講義・実技	ガイダンス／逆さまデッサン1	1日15分のクロッキー(週5枚)
2	4/23,4/24	実技	逆さまデッサン2	1日15分のクロッキー(週5枚)
3	5/7,5/8	講義・実技	講評／自画像デッサン1	自画像のラフを考える
4	5/14,5/15	実技	自画像デッサン2	自画像デッサンを進める
5	5/21,5/22	講義・実技	自画像デッサン3／講評	自画像デッサンを進める
6	6/11,6/12	講義・実技	手・足のクロッキー	1日15分のクロッキー(週5枚)
7	6/18,6/19	実技	女性モデルクロッキー(水着)	1日15分のクロッキー(週5枚)
8	6/25,6/26	講義・実技	スケッチ(鎖・みつあみ・縄)	1日15分のクロッキー(週5枚)
9	7/2,7/3	実技	細密デッサン(靴)1	1日15分のクロッキー(週5枚)
10	7/9,7/10	実技	細密デッサン(靴)2	1日15分のクロッキー(週5枚)
11	7/16,7/17	実技	細密デッサン(靴)3	1日15分のクロッキー(週5枚)
12	8/27,8/28	講義・実技	講評／透明化・単純化クロッキー	細密デッサン(靴)を仕上げる・夏休み課題
13	9/3,9/4	実技	男性モデルクロッキー(水着)	1日15分のクロッキー(週5枚)
14	9/10,9/11	講義・実技	石膏デッサンあたりどり	1日15分のクロッキー(週5枚)
15				
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】 適宜プリントを配布				
【持参する画材】デッサン道具一式(鉛筆・練りゴム・消しゴム・カッター・クロッキー帳)、講評用メモ帳				

科目名	デザインシンキング I A	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	甲田秀昭
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼-3年AB	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	2015年よりオフィス系アプリケーションの講義を担当						
授業の学習 内容	現代社会ではどのような職種に就いたとしてもオフィスアプリケーションの使用は必須。 そのため、オフィス系アプリケーションのデファクトスタンダードであるMicrosoft Word、Microsoft Excel、 Microsoft Powerpointについて基本的な操作と機能について理解・習熟する。						
到達目標	アプリケーションの特徴を活かしてビジネス書類の作成ができるようにする。						
評価方法と基準	授業ごとの練習制作物の提出:60% 評価点(課題評価):40%(授業で説明した機能を正しく使えているか)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・実技	自己紹介、授業内容の説明、PCの基本的な理解	
2	4月25日	講義・実技	word:基本的な入力・編集・操作	
3	5月9日	講義・実技	word:書式設定	練習制作物を提出できるように進める
4	5月16日	講義・実技	word:文書の整形	練習制作物を提出できるように進める
5	5月23日	講義・実技	word:図形、画像の利用	練習制作物を提出できるように進める
6	5月30日	講義・実技	word:表組みの作り方	練習制作物を提出できるように進める
7	6月13日	講義・実技	word:ビジネス文書作成	練習制作物を提出できるように進める
8	6月20日	講義・実技	word:差し込み印刷	練習制作物を提出できるように進める
9	6月27日	講義・実技	word:拡張機能	練習制作物を提出できるように進める
10	7月4日	講義・実技	word:文書作成総合	練習制作物を提出できるように進める
11	7月11日	講義・実技	Powerpoint:基本的な入力・編集・操作。	
12	7月18日	講義・実技	Powerpoint:図形、画像、表組みの利用	練習制作物を提出できるように進める
13	8月29日	講義・実技	Powerpoint:良いスライドを作るには	練習制作物を提出できるように進める
14	9月5日	講義・実技	Powerpoint:スマートアート	練習制作物を提出できるように進める
15	9月12日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】				

授業名(時間割表記)	デッサンⅢA	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小梨貞文
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼-3年AB	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	多摩美術大学油画卒業/イラストレーター						
授業の学習 内容	落ち着いてよく見る。描く前に多方向から対象を見て、形を理解する。見て描くことの意味を学ぶ。写メやスケッチしたモチーフをトリミングし、よいと思う構図や画面構成を考える。鉛筆の種類、芯の硬さの選択、芯の削り具合、筆圧を変える技術を身につける。練り消しゴムを使った技術を習得する。モチーフごとの形や色の変化を意識して陰影をつける。モデルを使用したクロッキー、スケッチにより人体の構造を把握する						
到達目標	イラストに繋がる表現の幅を広げる。構図、画面構成の視覚的効果を理解する。モチーフの位置関係・質感・固有色・陰影を、鉛筆の選択や筆圧など技法と結びつける。形を捉える能力を養う。日常的に描く習慣と伝達手段としての描く行為を身につける。陰影を単なる現象として描写するのではなく、モチーフの形や色に沿って表現する力を養う。ポートフォリオに完成度の高いデッサンを入れる。						
評価方法と基準	作品の完成度、課題提出率、制作態度を考慮し評価点を決定する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/17	演習	複数の煉瓦と金槌もしくは木槌とレモン	静物クロッキー
2	4/24	演習	複数の煉瓦と金槌もしくは木槌とレモン	〃
3	5/8	演習	人体クロッキー 学生各自のバッグ	人体クロッキー
4	2/15	演習	学生各自のバッグ	静物クロッキー
5	5/22	演習	ビンと玉ねぎとじゃがいも	〃
6	5/29	演習	ビンと玉ねぎとじゃがいも	〃
7	6/12	演習	人体クロッキー 布とブロックとりんご	人体クロッキー
8	6/19	演習	布とブロックとりんご	静物クロッキー
9	6/26	演習	薪と縄	〃
10	7/3	演習	人体クロッキー 薪と縄	人体クロッキー
11	7/10	演習	人体クロッキー モデルさん使用	〃
12	7/17	演習	かぼちゃとワインのビンとオレンジ	静物クロッキー
13	8/28	演習	かぼちゃとワインのビンとオレンジ	〃
14	9/4	演習	かぼちゃとワインのビンとオレンジ	〃
15	9/11		評価週	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】 デッサン用具一式(鉛筆・練り消しゴム・カッター・ガーゼもしくはティッシュ)プリント				

